

報道機関各位

## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の警報発令について

山形県感染症発生動向調査第50週（12月11日～12月17日）における小児科定点医療機関（県内28カ所）からのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告数が一定点あたり8.11となり、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報の基準（一定点あたり8）以上となったことから、本日、県内全域に「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報」を発令します。

つきましては、県民の皆様への注意喚起に御協力くださるようお願いいたします。

### 1 感染症発生動向調査による一定点あたりの患者報告数

地区別	第48週 (11/27～12/3)	第49週 (12/4～12/10)	第50週 (12/11～12/17)
山形県	4.71	7.14	8.11
山形市	8.50	10.33	12.33
村山	1.00	2.43	2.57
最上	1.00	1.33	1.33
置賜	9.20	16.60	17.60
庄内	3.57	4.86	6.14
全国	4.17	4.83	集計中

### 2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

A群溶血性レンサ球菌による感染症で、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」により感染します。

2～5日程度の潜伏期の後、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、嘔吐や莓状の舌などの症状が現れます。

### 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の予防

主な感染経路が飛沫感染、接触感染ですので、「手洗い」、「手指消毒」、「場面に応じた適切なマスクの着用」等基本的な感染対策が有効です。

### 4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生状況（小児科定点医療機関28カ所からの報告）

（単位：人）

年	県内の年間報告数	県内50週現在の 累計報告数	全国の年間報告数
R1	6,158	5,767	355,082
R2	3,650	3,526	200,223
R3	1,587	1,513	94,073
R4	505	490	52,909
R5	—	1,857	集計中

○前回の警報発令は平成27年12月24日（第51週）

問合せ先	山形県健康福祉部健康福祉企画課 課長補佐 渡部 善記 023-630-2292
報道監	健康福祉部次長 柴田 優